

事業名 みはしネットがしかける 地域・学校・家庭の連携強化事業
「三階小学校6年生によるお化け屋敷」

事業費（予算額）： 225,000 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業： 500,000 円）

P

事業の目的（解決を目指す課題）

- ＊次世代の地域を創生する人材育成のため地域・学校・家庭、多様な主体が連携協働していくこと。
- ＊三階小児童が、地域の課題を知り、まちづくりを担う地域住民と出会う。
- ＊児童から地域へ発信・提言することで、地域住民も活力を得る。

見込まれる成果

- ＊児童の主体性や自己有用感を育むことができる。
- ＊三階小児童が学習成果を地域へ発信し、地域住民に活力を与える。

D

事業の概要

- 内 容：昨年度の5年生がみはし☆まつりで開催した「おばけやしき」を、より多くの子もたちに届けられるように、石見小学校の児童クラブが開催するお店屋さんごっこコラボして開催した。自分たちでつくったチラシを石見小・三階小の児童に配布。その他、石見公民館や浜田のまちの縁側に掲示した。
- 事前の動き：石見小学校の児童クラブとコラボ開催するため、児童クラブのスタッフ、三階小6年担任、子ども部会、石見公民館主事と打ち合わせ
- 当 日：平成30年7月26日（木）13:00～16:00 会場：石見公民館 研修室
- 参加人数：約200人（児童や保護者、地域住民うち6年生児童26名、子ども部会部員3名含む）
- 工夫したこと：三階小学校6年生と石見小児童クラブの子もたちが、今回の体験を学びへと深めることができるように、振り返りの会をもった。



児童がデザインしたチラシ
三階小・石見小に配布
公民館・まちの縁側に掲示



お化け屋敷の入場券を作成
無事に出てきた子どもに
グミの進呈



お化け屋敷の入口で他校の
下級生に優しく声かけする
6年生



三階小6年生の司会進行で、
石見小児童クラブすぎのこの児
童と共に、終わりの会を開催

C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

									○	
--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--

・上記評価の理由

小学校と協働で授業づくりをするには、前年度からの打ち合わせが必要で、今年度はすでに取り組みされた教育活動を地域へ開いた取り組みであった。活動事態はねらい通りの成果が得られた。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと
（評価を10に近づけるために）

- ＊みはし地域のまちづくりの活動と三階小学校の授業を結ぶ学習プログラムの開発。
- ・今年度すでに来年度に向けて、小学校と打ち合わせを重ね、5年生を対象に防災学習を協働で進めることになった。